

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23105	食事療法実習 I Diet Practice I (Clinical Nutrition Course)	服部 哲也	専門	1	必修	2年前期
科目の概要						
<p>栄養士は食と健康の専門職で、臨床の場では正しい栄養管理により疾病の改善に大きく繋がるので、必要な専門知識、建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を総合的に身に付け、活躍しなければいけない。この科目では、高血圧や腎臓病等の食事療法を必要とする各疾患について、食事療法論 I を踏まえて治療食の概要や栄養食事療法の方針、食事基準、献立作成、栄養アセスメント、栄養管理、栄養食事指導等を実習することにより具体的な栄養管理技法を身に付ける。この授業では、栄養士に必要な客観的な証拠に基づいて科学的に判断する能力を身につける。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 各疾患(循環器・内分泌代謝・腎臓・消化器・血液等)の病因や病態、症状と食事療法について知り、説明できるようになることを目標とする。</p> <p>② 各疾患の栄養アセスメント、栄養管理計画、栄養食事指導について知り、説明できるようになることを目標とする。</p>			<p>① 各疾患(循環器・内分泌代謝・腎臓・消化器・血液等)の病因や病態、症状と食事療法の方針、栄養量、制限食品が説明・適用することができる。</p> <p>② 高血圧を始めとして食事療法の方針や食事基準が理解でき、治療食の献立と栄養アセスメント、栄養管理計画書が作成でき、さらに説明・適用できる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	高血圧を始めとする各疾患の食事療法計画案が自己作成できるという目標に向かって、指示が無くとも、必要な知識について、教科書等を使用して自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。				
考え抜く力	課題発見力	各疾患の食事療法の展開方法等については、思い込みや憶測ではなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完了できるよう進めることができる。				
	創造力	食事療法のあり方を検討する時を始め物事を考える時には固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現できる。さらに、発表の仕方を工夫して説明できる。				
	傾聴力	人の意見を確認し、その意見から新たなことに気づき、さらに自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語等講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト： 栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント第 11 版 本田佳子偏(医歯薬出版) 価格 2,700 円＋税 食事療法論 I で使用した「臨床栄養学」「糖尿病食事療法のための食品交換表第 7 版」「腎臓病食品交換表第 9 版」も使用する。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>関連科目：食事療法論 I、ライフステージ栄養、ライフステージ食事、栄養学、生理学、病理学、解剖学 資格との関連：栄養士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
高血圧を始めとする各疾患の機序、症状、栄養管理法等を事前に調べておくこと、さらに治療食の作成や調理実習では積極的に展開できるように努めること。			授業中は、私語を慎み、講義内容について積極的に質問すること、また、治療食作成には既存メニューを確認し、独自色が確認できるように努めること。 実習ではグループ活動が主体となるため、欠席しないこと			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①	✓	① レポートは後半期に1回行う。 ② 課題については「各疾患(循環器・内分泌代謝・腎臓・消化器・血液等)の病因や病態、症状と食事療法の方針、栄養量、制限食品について」等、授業で学習した内容で、800字程度で自分の言葉でまとめる能力で評価する。
		②	✓	
成果発表(口頭・実技)	20	①	✓	① 成果発表は、高血圧症の食事、消化器系疾患食、腎臓病食等の治療食の3回で行う。 ② 成果発表では、資料(パワーポイント)、発表内容等の創意工夫度や授業で学習した内容と質疑応答が適切であったか等で評価する。
		②	✓	
作品	40	①	✓	① 献立作成は3回行う。 ② 高血圧、腎臓病食等、治療食が方針に沿ってバランス良く、栄養管理ができ、さらに時間内で調理完了した等で評価する。 ③ 作品の完成度は、「非常に高い」「高い」「普通」「やや努力が必要」の4区分で評価する。
		②	✓	
社会人基礎力(学修態度)	10	①		(主体性)高血圧を始めとする各疾患の食事療法計画案の自己作成達成に向かって、指示が無くとも、教科書・文献を使用して自己学修をすることができる。 (実行力)困難があっても目標を変更せずに到達できたかで評価する。 (課題発見力)各疾患の食事療法の展開方法等については、思い込みや憶測ではなく、事実に基づき情報を整理し課題を見極めたかどうかで評価する。 (計画力)グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完了できるよう進めることができる。 (創造力)食事療法のあり方を検討する時を始め物事を考える時に固定観念に捉われず、いろいろな方向から考えられたかどうかで評価する。 (発信力)整理した内容を的確な文章で表現し、さらに発表の仕方に工夫があったかどうかで評価する。 (傾聴力)グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べたかどうかで評価する。 (規則性)受講態度(遅刻、欠席、私語、学習意欲欠如等)が見られる場合は1回につき2点の減点をする。
		②		
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各疾患(循環器・内分泌代謝・腎臓・消化器・血液等)の病因、栄養アセスメント、栄養管理計画等のレポート内容、糖尿病食や腎臓病食の献立内容、調理技術、作成ポイントについて習得でき、論理的に説明することができ、発表内容も非常に優れ、さらに授業態度にも問題がない場合に(優)とする。 (秀)については、栄養計画書等のレポート内容、献立内容、調理技術が完璧で非の打ちどころがない場合。	各疾患(循環器・内分泌代謝・腎臓・消化器・血液等)の病因、栄養アセスメント、栄養管理計画等のレポート内容、献立内容、調理技術、作成ポイントについて十分に習得、説明することができ、発表内容も良好であり、さらに授業態度にも特段問題がない場合に(良)とする。 (可)については、授業内容を習得かつ説明ができ、発表内容及び授業態度にも特段問題がない場合。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 栄養ケアの基礎知識 栄養ケアについて理解する。	講義後、 フィードバックする。	実習の目的と実習方法について説明できる。	(復習) 栄養ケアの概要をまとめておくこと。 (予習) 栄養評価条件について教科書を読み、ポイントを整理しておく。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2週 /	栄養ケアの基礎知識 栄養ケアと栄養状態の評価条件を理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	栄養ケアの概要と栄養状態の評価について説明できる。	(復習) 栄養ケアと状態の概要をまとめておくこと。 (予習) 経口栄養、経腸栄養、経静脈栄養について教科書を読み、整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3週 /	栄養補給とその種類 3種類の栄養補給法について理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	3種類の栄養補給法と評価について説明できる。	(復習) 経口栄養、経腸栄養、経静脈栄養の適応と選択法についてまとめておくこと。 (予習) 一般治療食の種類と栄養基準を教科書を読んで整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4週 /	一般治療食の理論と展開① 一般治療食の区分と栄養基準等を理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	一般治療食の栄養価と献立作成条件について説明できる。	(復習) 小児食、産科食、粥食、普通食の栄養基準をまとめておくこと。 (予習) 常食、軟菜食について教科書を読み、整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 想像力 傾聴力 規律性
5週 /	一般治療食の理論と展開② 一般治療食のメニュー展開方法を理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	普通食から全粥食・5分粥食への展開技法について説明できる。	(復習) 常食、軟菜食の職種ごとに使用できる食材をまとめておくこと。 (予習) 消化器系疾患の治療食の内容について教科書を読み、整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6週 /	胃・腸・肝・胆・膵臓疾患① 消化器系疾患の治療食について理解する。	講義・演習 レポート後、 フィードバックする。	各疾患の概要と栄養ケアについて説明できる。 疾患の病態や食事方針等のレポート内容で評価する。	(復習) 胃・腸・肝臓・胆のう・膵臓の栄養アセスメントをまとめておくこと。 (予習) 胃潰瘍、潰瘍性大腸炎食やクローン病の食事について教科書を読み、整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力 実行力
7週 /	胃・腸・肝・胆・膵臓疾患② 消化器系疾患の治療食の作成について理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	胃腸疾患用の献立作成と発注書作成ができる、消化器系疾患の治療食について説明ができる。	(復習) 胃潰瘍の治療食メニュー内容をまとめておくこと。 (予習) 成果発表に向け、内容や説明ポイントを整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8週 /	胃・腸・肝・胆・膵臓疾患③ 消化器系疾患メニューの調理と評価について理解する。	実習 成果発表後、 フィードバックする。	胃腸疾患の調理実習と作成ポイントが説明できるようにする。 メニュー作品、作業手順、発表内容にて評価する。	(復習) 班で検討した胃潰瘍の治療食メニューのポイントをまとめておく。 (予習) 糖尿病の交換表をよく読み、治療食ポイントを整理しておく。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	内分泌・代謝疾患① 糖尿病治療食について理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	糖尿病食事療法のための食品交換表の活用方法について説明ができる。	(復習)糖尿病の食品交換表の活用方法と内容をまとめておくこと。 (予習)糖尿病食のメニュー作成ポイントを整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10週 /	内分泌・代謝疾患② 糖尿病治療食の作成について理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	糖尿病食事療法のための交換表で献立を作成し、発注書名等の作成と説明ができる。	(復習)食材発注分担をまとめておくこと。 (予習)班で作成した糖尿病メニューについて担当を仕分けておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 実行力
11週 /	内分泌・代謝疾患③ 糖尿病治療食メニューの調理と評価について理解する。	実習 成果発表後、 フィードバックする。	糖尿病食の調理実習と作成ポイントについて説明、発表ができる。 メニュー作品、作業手順、発表内容で評価する。	(復習)班のメニューの試作を行い、課題をまとめておくこと。 (予習)高血圧の食事方針について教科書をよく読み、整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 実行力 計画力
12週 /	脳循環器疾患① 高血圧治療食について理解する。	講義・演習後、 フィードバックする。	高血圧食の献立作成と栄養価計算を作成でき、内容について説明ができる。	(復習)高血圧の治療食メニューをまとめておくこと。 (予習)高血圧食のメニュー作成に向け、使用食材を整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13週 /	脳循環器疾患② 高血圧治療食のメニュー作成について理解する。	講義・演習 レポート後、 フィードバックする。	腎臓病の治療食メニューについて説明ができる。 脳循環器疾患の病態や食事療法の方針等のレポート内容で評価する。	(復習)高血圧の治療食ポイントをまとめておくこと。 (予習)腎臓病の治療食について教科書を読み、ポイントを整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力 実行力
14週 /	腎臓疾患① 腎臓病治療食について理解する。	講義・実習後、 フィードバックする。	腎臓病食品交換表の活用方法を理解した上で、献立を作成し、その内容を説明できる。	(復習)急性腎炎の食事と慢性腎臓病についてまとめておくこと。 (予習)腎臓病食品交換表を読み、活用方法を整理しておくこと。	60	主体性 課題発見力 想像力 傾聴力 規律性
15週 /	腎臓疾患② 腎臓病治療食メニューの調理と評価について理解する。	実習 成果発表後、 フィードバックする。	腎臓病食の調理実習と作成ポイントを説明、発表できる。 メニュー作品、作業手順、発表内容で評価する。	(復習)腎臓病メニューの作成ポイントと日常生活についてまとめておく。	60	主体性 課題発見力 想像力 発信力 傾聴力 規律性 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力